

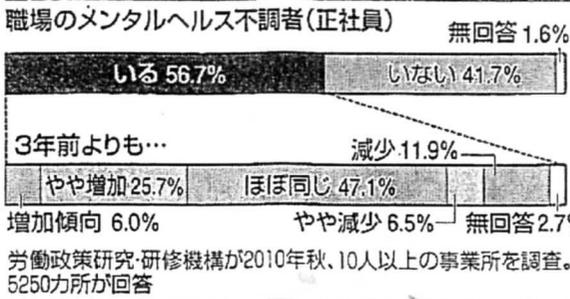
# 過酷な勤務・暴言・限界

## 心を病んで ①

終電直前に青白い顔で駅に走るスーツ姿の人を見かけると、かつての自分の姿と比べて見え、やるせなくなる。システムエンジニアの中原将太さん(31)が「うつ状態」と診断されたのは、7年前の春。職場で知らない間に失禁していたことに驚いて受診し、今も通院を続ける。

専門学校を卒業し、2002年4月、富士通徳島システムエンジニアリング(現・富士通四国システムズ)に入社。10月から製菓会社向けのソフト開発担当になった。

新人なのに、仕事は担当者9人中、3番目に多かった。毎日、パソコンに向かってプ



項目	2007年	2008年	2009年	2010年
就業率	72.3%	71.8%	71.5%	71.2%
失業率	27.7%	28.2%	28.5%	28.8%
新規求職者	15.2%	14.8%	14.5%	14.1%
求職者	20.5%	20.1%	19.8%	19.4%
求職者1人あたり	1.35人	1.36人	1.37人	1.38人
求職者1人あたり	1.35人	1.36人	1.37人	1.38人
求職者1人あたり	1.35人	1.36人	1.37人	1.38人



## 勝訴、でも復職できず

ログラムを書き続けた。帰宅は午前0〜3時。コンビニで買った晩ご飯を5分でかきこみ、朝は8時に起きてひげもそらずに出社した。

失敗すると、上司に蹴られたり、「死んでくれ」と言われたりした記憶もある。トイレの個室で泣いた。手の大量の汗、全身のだるさ、強い不安感に悩まされるようになった。

診断の翌月から会社を休み、労働基準法などを調べるうち、会社の理不尽さに怒りがわき、04年10月に提訴した。09年に、パワハラについては触れていないものの、病気と長時間労働の因果関係を認め、会社側に慰謝料支払いなどを命じる判決が確定した。

「僕が特別なんじゃない。誰にでも起こりえる。知識があれば職場の異常さに気づける」。会社は休職している。復職を希望しているが、結論は出ていない。

長時間労働やパワハラ、セクハラなどで、メンタルヘルス(心の健康)に不調を起す人は増える一方だ。労働政策研究・研修機構の昨秋の調査(5250事業所回答)では、不調者のある事業所は6割。うち3割が、3年前より人数が増えたと答えた。

成果主義やリストラで職場の余裕は失われ、ストレスは増している。さらに心の不調は周囲に見えにくく、病気への理解も十分でない。対応の遅れが、一層の悪化を招く。

1人でも入れる労働組合「東京管理職ユニオン」(本部・東京都渋谷区)への相談者の4割は心の不調も訴える。正社員はとりわけ、転職の難しさや非正社員になる不安から、会社の無理な要求にも応えてしまいがちという。

東京都の清水文美さん(32)

清水文美さんが残っていた07年7月中旬〜8月中旬のタイムカードの記録。労働時間は343・50時間、公休は1日。4日間で約80時間働いたことを示す数字もある

は高校卒業後、8年間のフリーター生活を経て、06年9月にコンビニ「SHOP99」の運営会社に入社した。

翌年6月には店長になった。店は24時間営業で、アルバイトが入れない時の穴埋めは自分。37日間連続勤務や4日で約80時間働いたこともあった。それでも店長は管理職扱いで時間外手当がつかず、収入は激減した。

腹痛や不眠、吐き気、食欲不振に悩まされたが、「やっとなれた念願の正社員。それに短期間で辞めたら転職で不利になる」と思っていた。

9月に病院で「うつ状態」と診断され、翌月から休職。労働組合の「首都圏青年ユニオン」に相談すると、自分は今本業なら残業代がもらえる「名ばかり管理職」と言われた。未払い残業代の支払いなどを求め会社を訴え、今年5月に勝訴。「僕は会社の『歯車』以下。燃え尽きたら何も残らない『燃料』だった」

復職したいが、復職できるまで体調は回復していない。

一方、苦しくても声をあげられない人は圧倒的に多い。

「ブス、業績不振はお前のせいだ」「契約更新はないからな」「メスブタ、死ぬ」

今春、西日本の派遣社員の高世代女性は、派遣先で上司から1時間以上罵声を浴びた。机の上のカッターナイフが目に入った。「じゃあ死にましようか」。そう言いかけた、その場で気を失った。

うつ病とパニック障害と診断されていたが、会社にはひた隠しにしていた。前の職場の長時間労働で発病。移ったこの会社では上司のパワハラなどで症状が悪化していた。

不況で夫の収入は月10万円減。家のローンも残る。病気を知られると、仕事を失いかねない。だから、倒れた翌日も、同僚には「忙しくてしんどかった」とごまかした。

しかし、上司の言葉通り、翌月で契約終了になった。「ぼろぼろにされて、使い捨て。そして泣き寝入り。あまりに理不尽だと思っ」

女性は今も、病気を隠して別の職場で仕事をしている。(石山英明)

増え続ける心の病。職場で何が起きているのか。課題と対策を探る。